

(様式4)

令和7年11月7日

# 令和7年度 第2回 大阪市立南百済小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立南百済小学校

校 園 長 名 二 俣 峰 雄

日 時	令和7年11月6日（木）	
場 所	大阪市立南百済小学校	
出席者	房本 実（会長） 北田秀樹（委員） 金森 理（委員） 奥野貴史（区役所） 二俣峰雄（校長） 上野博信（教頭） 山本信吾（教務主任）	
議題	(1) 令和7年度運営に関する計画について (2) 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について	
協議 要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) ○いじめ問題について、子ども達の心に響く言葉で丁寧に指導を続けていく。  ○委員会や区役所から貸与できる翻訳機を活用していく。  ○投げ方教室については、学校の意向を明らかにし、地域団体へ依頼する。  ○図書選定の基準に、協議会の意見を参考にするよう伝える。	○個人情報の観点からいじめの実態については詳しく話せないこともあるだろうが、丁寧に指導を続けてほしい。 ○人権意識の高めさせていくという言葉ではなく、人の心を傷つけないようにするなど分かりやすい言葉を使用するのはどうか。  ○来日児童の増加に伴う翻訳機の台数が足りない。国際交流センターの三者通訳なども活用することを視野に入れてはどうか。  ○投げ方教室の実施に向けては、学校の意向を具体的に示すことで地域団体も動きやすい。  ○読書活動を好きにさせることは難しい。現代は大人もスマホを活用することが一般的。現在子どもたちに人気のアニメの基となったノベルもあるので、学校図書の選定に入れてはどうか。
	(2) ○校内アンケートの結果を分析し、低く評価している児童を意識して指導を繰り返していく。	○いじめや自己肯定感に関する意識は目標に達していない状況だが、児童質問紙の結果を分析すると、全国平均より高い。
協議 資料	○ 令和7年度運営に関する計画中間評価 ○ 令和7年度全国学力・学習状況調査結果	
備考		